

夢咲楽

～和輪話通信～

目次	■ 未来にはばたけ!! ～さくら市の若者たち～……1	■ マスミ先生「スマホ18の約束」……3
	■ 子どもを育てる! ふれあいメッセージ……2	■ 1年間を振り返って 平成24年度さくら市青少年センターの活動……4

1年間を振り返って

～平成24年度さくら市青少年センターの活動～

研修班



さくら市の子どもを考える会講演会



視察研修(鹿沼市青少年指導センターほか)



研修班班長 亀田 格男

9月29日「さくら市の子どもを考える会」は、音楽療法士近藤美智子先生の講演会を、11月15日には鹿沼市青少年指導センター及びNPO法人CCV口ハスカフェの視察研修を行いました。来期も、参加してよかったと言ってもらえる企画をしたいと思います。

ICT研究班



劇団わわわ「携帯電話の危険な落とし穴」



ICT研究班班長 田代 眞澄

平成22年度から新設したICT研究班は関係の皆様方のご協力を得て今日までネットの危険性を啓発する活動を続けて参りました。情報技術進歩は激しさを増す中、今後とも精進し、お役立ち情報を発信して参ります。

広報啓発班



朝の声かけ活動(氏家駅前)



「夢咲楽 和輪話通信」発行



広報啓発班班長 福田 克之

今期も各方面で活躍する方々をはじめ、わわわ隊各班の行事に参加をさせていただき取材をすることができました。

まもなく「夢咲楽～和輪話通信～」は20号の節目となりますが、さらに多くの皆さんと協力をして広報啓発に努めて参ります。

体験活動班



「わくわく探検隊」(木工工作体験)



スケート体験



体験活動班班長 加藤 有希

交流の中で皆様の協力があり、多くの子どもたちの笑顔に会うことができました。これからも子どもたちとの交流を通して小さな輪が、もっと大きな輪になれるよう努めたいと思います。そのためにも指導員として一人一人が自覚と責任を持ち、より良い活動をしていきたいと思ひます。

巡回班



朝のあいさつ運動(喜小)



朝のあいさつ運動(押小)



巡回班班長 飯島 満

今年度の巡回活動として市内各学校での朝の声かけ、駅周辺での夜の巡回を実施しましたが、回を重ねるごとに良い効果を感じました。今後、活動内容を改善しつつ、より一層の向上を図りながら活動に努めたいと思ひます。

次のゆめさくらわわわつうしんは平成25年7月に発行予定です



太鼓に興味のある方、一緒にやりましょう!



未来にはばたけ!!

～さくら市の若者たち～

若き担い手

喜連川公方太鼓に所属する高根沢高校2年の若谷亮さん取材しました。

若谷さんは、保育園の時に先生から習ったのがきっかけで太鼓を始めました。小学校に入学しても続けたかったの思いから、喜連川公方太鼓に入ったそうです。

「保育園の時はただ太鼓を打つことが楽しかったのですが、公方太鼓に入ってから様々年齢の方とのふれあいがあり、家族のような雰囲気の中で、団結力の大切さを感じるようになりました。」と若谷さん。それでも、小学3年生までは、練習中に太鼓の運搬台車で遊んだりしていましたが、小学4年生になり後輩が入ると、上級生としての自覚が生まれ、練習にも真剣に取り組むようになり、太鼓の音の強弱がつかめるようになってきたそうです。

中学に入る頃には後輩が10人以上に増え、指導する立場になった若谷さんは、上下関係に気をつけるようになりました。そして高校に入ると、大きな経験をすることになります。「二人打ちで、全国大会に出場しました。結果は初戦で敗退してしまいましたが、太鼓をやっていく上でとても良い経験をしました。」

今後は、公方太鼓の中で目標にしている先輩のように、地元就職をして、後輩たちの指導をしながら仲間と一緒に、ずっと太鼓を続けていきたいそうです。

若谷さんは最後に、「公方太鼓は組み太鼓と呼ばれ、1人でも息が合わない、全てがためになってしまいます。その分、メンバー全員がひとつにまとまった時、その喜びや達成感はずいぶん大きくなることを、後輩たちに伝えていきたい」とも話してくれました。若い子力で、喜連川公方太鼓をさくら市から全国へ、そして世界へ発信してほしいですね。元気いっぱい若谷さんの活躍、これからも目が離せません。

わわわ隊 福田克之



わわわ隊 会長 岡 一雄

あとがき 昨年の夏、さくら市ミュージアムで開催された絵画展「山下清とその仲間たち」は多くの市民に深い感動を与えてくれました。八幡学園に暮らす、清たち知的障害を持つ子どもたちは「踏むな、育てよ、水そそげ」という教育方針の下、その才能を大きく開花させることができたのです。

私たち少年指導員会も、さくら市の子どもたちや若者たちが自分の夢や未来に向かってはばたけるように支え、見守る活動をこれからも続けていこうと考えています。

立志式に寄せて

2月1日、さくら市内の中学校で「立志式」が開催され、氏家中学校を取材してきました。

立志式のいわれは、安政時代、福井藩の藩医であった橋本左内が、15歳の時に「啓発録」を書き記して自らの志を立てたことが始まりだと言われています。江戸時代、武士の子は15歳で元服し、大人の仲間入りをしました。

現代でもそれに倣って、将来のことを思い、志を立てようということで、旧氏家町でも昭和40年に、当時の氏家、熱田両中学校の校長先生、PTA会長、氏家町長の働きかけで初の立志式が開催されました。県下初であり、全国に先駆けての開催と言われています。

当時の矢沢町長の回顧録を読むと、立志にふさわしいのは立春だろうということで2月4日の開催を決めた事、式の名前は「立春立志式」「立心式」などいろいろ案があったが「立志式」とした事、記念品については花びんと筆立兼用の焼き物を、急ぎ益子の窯元に注文した事などが書かれていて興味深いです。第1回目の立志式では、立志の誓いだけでなく、先輩からはなむけの言葉や、きぬ川学院長の講演、男子剣道部員による模範演技なども行われたようです。



その後も引き続き立志式は開催され、現在の形となって定着しました。今年は男女2人の代表が、それぞれ自分の夢を語ってくれました。また生徒たちによる記念合唱「明日の空へ」は迫力のある合唱で、とても素晴らしかったです。後ろに座っている保護者席に向かって歌うのですが、お母さんたちの中には涙ぐんでいる人も見受けられました。子どもたちの成長を見て、万感の思いだったのでしょうか。

これからも長く続いて欲しい、素晴らしい式典だと感じました。

わわわ隊 加藤 朋子

「父より娘へ」

ついこの間までは小さな赤ちゃんだったあなたがもう立志を迎える歳になりました。おめでとう！

これからどんどん大人になっていくんですね。それに比べ父親は成長していないこと…、情けなく感じます。でもいつまでもあなたのことを思っています。成人式を迎えたら大人の話がしたいですね。それまで、しっかり今やるべきことに集中してください。

ふれあい
メッセージ
シリーズ3

「自分づくり」をめざそう

氏家中学校

校長 荒井 善市



「自分探し」という言葉が、若者の間で持てはやされてから久しい。結果的に、フリーターやニートの発生や増加につながったことは紛れもない事実です。自己肯定感や意思決定力の低い若者が社会的自立の遅れに苦しむ姿は悲しいものです。

本校では、対話ある授業や感動のある行事を通して、学習意欲の向上やコミュニケーション能力の育成に取り組み、生きる力を伸ばす「自分づくり」を目指しています。対話は、自分から語りかける勇気が必要ですが、その勇



気が心の通い合う楽しさを相乗的に高めてくれます。また、感動は、一生懸命取り組んだ証として突然やってきますが、時として予想外の大きな成長をもたらしてくれます。

ですから、何事にも勇気を出して積極的に挑戦してほしいのです。その努力を成長の糧として、一人一人が未来を切り開く「自分づくり」を進めてほしいと願っています。



母から子へ「スマホ18の約束」

スマホ18の約束！息子にスマホを与えた時に18の約束ごとを契約書に書いて与えたアメリカのお母さんに対し全米のお母さんが共感し話題になりました。日本でも民放のテレビで紹介されました。意識を紹介します。これから子どもに携帯を、と考えている保護者の方の参考になれば幸いです。

〇〇〇〇へ、

メリークリスマス！あなたは今日からスマホが持てます。よかったね！

責任感のあるお利口な13歳なので、このプレゼントを贈ります。

でも、このプレゼントを受け取ると同時にルールや規則が付いてきます。以下の使用契約をゆっくり読んでください。

あなたが健康で豊かな人間性を持ち、現代の技術を手うまく活用していける大人になることを望みます。

以下の規則を守ることができなかった場合、スマホをとりあげます。大好きなあなたと何百万件ものメッセージ交換をするのが楽しみです。

- 1.これはお母さんが契約した携帯です。あなたに貸しているものです。
- 2.パスワードはかならず私に報告すること。
- 3.鳴ったら必ず出ること。礼儀良く「こんにちは」と言いなさい。発信者が「ママ」か「パパ」だったら必ず出ること。絶対よ。
- 4.学校がある日は夜7時半にスマホを私が預かります。週末は夜9時に預かります。スマホは朝7時半まで電源オフにします。友達の固定電話に電話出来ないような相手ならその人には電話もSMSもしないこと。自分で判断し、他の家族に迷惑をかけること。
- 5.スマホは学校に持って行ってはいけません。SMSをする子とは直接お話しなさい。話すことは人として大切なことです。注：半日登校、修学旅行や学校外活動は各自検討します。
- 6.万が一トイレや床に落としたり、無くしたり、壊した場合の修理費用は自己負担です。家のお手伝いをしたり、おこづかいでカバーしてください。こういうことは必ず起こります。覚悟しておいたほうがいいでしょう。
- 7.スマホの機能を使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。人を傷つけるような会話にのらないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩をしないこと。
- 8.人に面と向かって言えないようなことをSMSやメールでしないこと。
- 9.友達の前で言えないようなことをSMSやメールでしないこと。自分でよく考えてください。
- 10.アダルト禁止。私と共有できるような情報をウェブで検索してください。質問などがあれば誰かに聞きなさい。なるべく私かお父さんに聞いてね。
- 11.公共の場では電源を切るなり、マナーモードにすること。特にレストラン、映画館や他の人間と話す時は

そうしてください。あなたは失礼なことをしない子です。マナーも携帯してください。

12.他の人にあなたの大事な所の写真を送ったり、買ったりしてはいけません。笑わないでね。そういうこと興味を持つ時期がやってきます。とても危険なことだし、あなたの人生を壊してしまう可能性だってあるのよ。よくない考えです。インターネットに出たものを消すのは難しいし、うわさを消すのもなおさら難しいことをわかってください。

13.写真やビデオを膨大に撮らないこと。すべてを収録する必要はありません。人生経験を肌身で体験してください。すべてはあなたの記憶に収録されます。

14.ときどき家にスマホを置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。スマホは生きものじゃないし、あなたの一部でもありません。スマホなしで生活することを覚えてください。流行に流されない、携帯に依存しない器の男になってください。

15.新しい音楽、クラシック音楽、あるいは全員が聞いている音楽とは違う音楽をダウンロードしてください。あなたの世代は史上もっとも音楽にアクセスできる世代なのよ。この特別な時代を活用してください。あなたの視野を広げてください。

16.ときどきワードゲームやパズルや知能ゲームで遊んでください。

17.前向きに歩いてください。あなたの周りの世界を良く見てください。窓から外を覗いてください。鳥の鳴き声を聞いてください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください。

18.あなたが約束をやぶった時はスマホを取り上げます。その約束について私と話し合います。また1からスタートします。あなたと私はいつも何かを学んでいる。チームメイトです。一緒に答えを出して行きましょう。

この条件を約束してくれることを願っています。ここに書いたほとんどの条件は人生をうまく生きるための条件にも当てはまるものだと思います。あなたは常に激変していく世の中で生きています。

とても刺激的な体験だと思います。そういう時こそできるだけシンプルに物事を考えてください。どんな機械よりもあなたの考えの深さ、心の大きさは優れていることを信じてください。そんなあなたがお母さんは大好きなの。あなたの素晴らしいスマホを楽しんでね。

母より。